

SIMPLIFIER BASS MASTER

ゼロワット ダイレクトボックス ベース アンプ



ユーザーマニュアル

はじめに.....	3
主な特徴:	3
プリアンプ セクション コントロール	4
パラレル信号	5
キャビネットシミュレーション:	6
入出力	7
フロント ジャック:	7
リアジャック:	8
XLR 出力:	9
フローチャート	9
仕様:	10

はじめに

Simplifier Bass Master は、幅広いスタイルやシチュエーションで最高のベーストーンを実現するために、様々な要素を長年研究した相互作用の結晶です。

Bass Master は、定評のある Bass Station の先駆けとして、より優れた汎用性と実用的で分かりやすいアプローチを実現しました。

3 つのモード (Clean、Comp、Hot) を備えた非常に汎用性の高いプリアンプであり、ローエンドのフィーリングとレスポンスを向上させるローパスフィルターオプションを備えたパラレルシグナルミックスを装備、そして 4 バンドイコライザーを搭載し、他のベースプリアンプでは実現不可能なトーンを実現する、極めて汎用性と性能に優れたツールとなっています。

メインシグナルチェーンの最終段には、Simplifier Bass Master 独自のアナログキャビネットシミュレーションが搭載されており、サイズ (4×10、8×10、1×15)、スピーカータイプ (Warm、Bright、Modern)、パツフルのポート数 (低域のレスポンス向上)、ツイーターミックス (高域の質感向上) を選択することで、理想のキャビネットを簡単に構築できます。DSM Humboldt ペダルは、非常に柔軟な接続性と実用性で知られています。Bass Master も例外ではありません。プリエフェクトループとメインエフェクトループを備えたデュアルエフェクトループを搭載しています。

プリエフェクトループは、プリアンプ、パラレルチェーン、または両方に同時に割り当てることができ、スプリッターや追加ケーブルを使用せずに、左右で異なるエフェクトを使用できます。

XLR 出力は「Main」と「Parallel」の 2 系統が用意されているため、それぞれを異なるデバイスやチャンネルに分離してリアンプ録音に使用したり、サブウーファーを別途接続して重低音を増幅させたりすることができます。

さらに、Aux 入力付きのヘッドフォン出力と、パラレルスルーとメインキャビネットシミュレーターバイパスのオプションを備えた 2 つの TS 出力を備えています。

主な特徴:

- 3 つのモード「Clean」、「Comp」、「Hot」を備えたプリアンプモジュールです。
- パラレルミックスレベル、選択可能なローパスフィルター (オフ、100Hz、500Hz) と位相スイッチを装備しています。
- 80Hz、300Hz、800Hz、2kHz の 4 バンド EQ を搭載しています。
- 3 つのサイズ、3 つのタイプ、ポート、ツイーターオプションを備えた最高のアナログキャビネットシミュレーションを装備しています。
- デュアルエフェクトループ「Pre FX」と「Main」を装備。Pre FX ループはパラレル、プリアンプ、または両方にアサイン可能です。Main FX ループは、キャビネットシミュレーション前のメインシグナルチェーンにのみ作用します。

プリアンプ セクション コントロール



モード(DRIVE MODE)スイッチ:このスイッチでプリアンプのモードを切り替えます。

- Clean:透明感のあるクリーントーン。ゲインを上げると温かみのあるサウンドになります。
- Comp:コンプレッションのかかったトーンです。アタックは速く、ディケイは中程度になっています。ファンキーなスラップサウンドに最適です。このモードでは、ゲインノブはコンプレッションレベルを調整します。

- HOT:ホットなヴィンテージベースアンプをハードにドライブしたようなサウンドです。

- GAIN ノブ:プリアンプの入力レベルを調整します。Comp モードではコンプレッションレベル、HOT モードではディストーションレベルを調整します。

- PREAMP LEVEL ノブ:プリアンプセクションのボリュームレベルを調整します。

- PRE FX セレクトスイッチ:PRE-FX ループに接続されたエフェクトを、パラレル、プリアンプ、または両方の信号ラインにルーティングするかを選択します。

パラレル信号

パラレル信号は、4 バンドイコライザーの前のプリアンプ信号とミックスしてメインルートに送ることができます。また、この信号はローパスフィルターを適用することで、ベーストーンの低域のみを出力できます。これにより、コンプ機能で残りの部分をコンプレッションしたり、さらにクールな効果を生み出したりすることができます。例えば、ディストーション使用時に深みのあるサウンドを付加したり、高中域を歪ませながら低域はタイトでレスポンスの良いサウンドを維持したりできます。

また、パラレル信号は EQ とパラレルミックスコントロールの前の「PARALLEL」DI 出力に直接接続されます。これにより、ミュージシャンはパラレル信号チェーンを様々なエフェクトと組み合わせて使用し、別のデバイスに送ることができます。例えば、低域のダイナミクスを維持しながら、コンプ機能で残りの部分をコンプレッションしたり、さらにクールな効果を生み出したりすることができます。例えば、ディストーション使用時に深みのあるサウンドを付加したり、高中域を歪ませながら低域はタイトでレスポンスの良いサウンドを維持したりできます。

また、パラレル信号は EQ とパラレルミックスコントロールの前の「PARALLEL」DI 出力に直接接続されます。これにより、ミュージシャンはさまざまなエフェクトを備えた並列信号チェーンを使用し、それを別のデバイスに送信できるようになります。

コントロールは以下のとおりです。

- PARALLEL MIX ノブ: パラレルチェーンからメイン信号へのレベルを調整します。0 でミュート、10 でフルボリュームになります。プリアンプのレベルをミュートして、クリーンなパラレル信号のみをメイン信号チェーンに送ることも、その逆も可能です。
- LPF スイッチ: パラレルサウンドのローパスフィルターを選択します。100Hz ではサブローのみ、500Hz ではローとローミッドの一部が通過し、Off ではオリジナルのベーストーンになります。
- PHASE スイッチ: ¼ TS 出力のセンターより下に配置されており、信号の位相を反転します。一部のファズのように位相が反転する可能性のあるエフェクトをパラレル FX ループで使用する場合、このスイッチは信号を打ち消しあってしまう問題を回避できます。



キャビネットシミュレーション:

市場で最も先進的なアナログキャビネットシミュレーションにより、キャビネットの様々な特性を調整し、タッチスクリーンの操作や IR リストのスクロール操作をすることなく、思い通りのレスポンスを実現できます。微調整するだけで、わずか数秒で理想のキャビネットレスポンスを直感的に見つけることができます。

コントロールは以下のとおりです。

○キャビネットサイズスイッチ

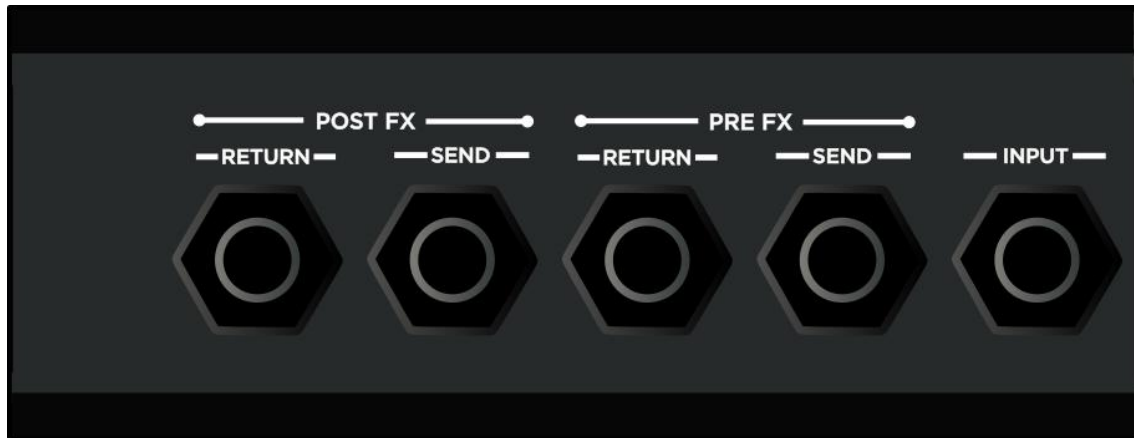
- 1×15: 温かみがあり丸みのあるサウンドで、低域は伸びやかですが、高域はよりクリーミーで耳障りではありません。
- 8×10: 低域が豊かで響きの豊かなキャビネットです。
- 4×10: フラットな低域レスポンスと甘美な中域を備えた、モダンスタンダードなキャビネットです。

○キャビネットタイプスイッチ

- Warm: パンチの効いた中域レスポンスと滑らかな高域を備えたビンテージスピーカーです。
- Bright: 独特の中高域の歯切れの良さが特徴のアルミコーンスピーカーです。
- Modern: よりフラットなレスポンスで、高域と低域が豊かに響きます。
- PORTING: このノブは、キャビネットの低域レスポンスを「ベンテッド」と「クローズド」の間で調整します。「クローズド」サウンドは、特定の周波数（「キャブサイズ」スイッチで設定）で共鳴しますが、最低域には HPF が作用します。「ベンテッド」は低域レスポンスを拡張し、共鳴を抑えます。共鳴周波数と低域拡張の間の任意のポイントをスイープできます。
- TWEETER: キャビネットのツイーターのレベルと周波数をコントロールします。高域レスポンスの質感を調整するために使用します。歪んだベーストーンを使用する際に不要なノイズを軽減したり、クリーンなベーストーンに明瞭さを加えたりするのに非常に効果的です。
- TWEETER: 全体の音量を調整します。

入出力

フロント ジャック:



- INPUT ジャック: ベースを接続します。
- PRE FX(エフェクト) ループ:
- PRE FX SEND: PRE FX SEND は、プリアンプの前段の入力から出力されます。このループに配置されたエフェクトの入力に接続します。
- PRE FX RETURN: PRE FX RETURN は、パラレル側、プリアンプ側、または両方に送るように選択できます。

ヒント: パラレル信号にルーティングすれば、キーボードやシンセサイザーなどの他の楽器を接続することもできます。

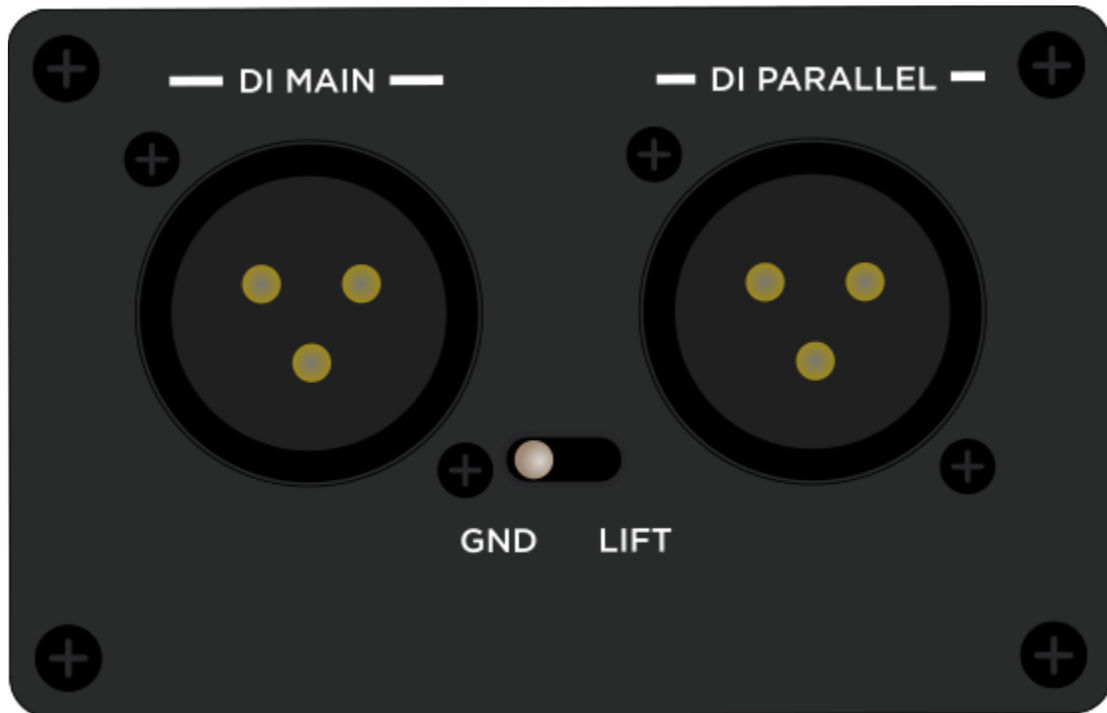
- POST FX (メインエフェクト) ループ:
- POST FX SEND: POST FX SEND は EQ セクションの後に来ます。メインミックスのサイドチェーン用のエフェクトをここに接続します。
- プリアンプ エフェクト リターン: メイン シグナルチェーンのエフェクトからのリターンで、キャビネット シミュレーションに送られます。

リアジャック:



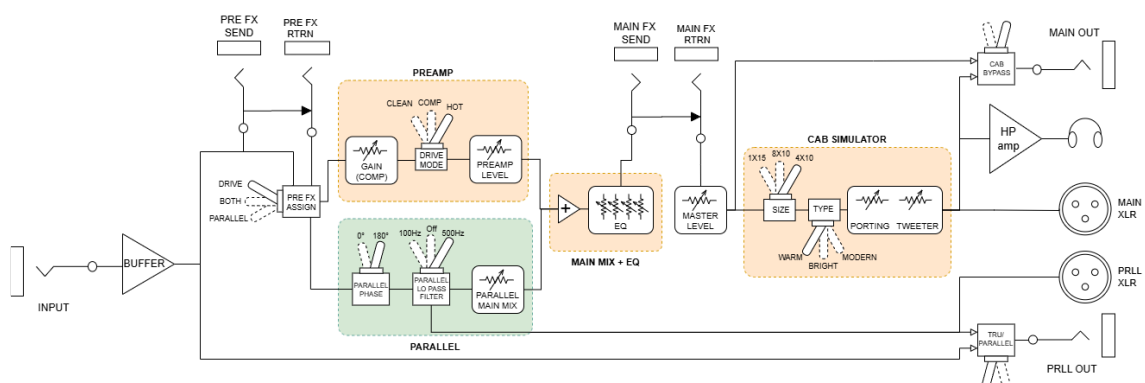
- OUT MAIN: メイン出力、またはキャビネットシミュレーションをバイパスした状態(選択されている場合)で出力します。
- OUT PRLL: パラレル信号、または「thru」を選択した場合はバッファーされた入力信号を出力します。
- AUX IN: 補助入力、MP3 プレーヤー、スマートフォン、その他のオーディオ機器からの信号を受信し、ステレオでヘッドフォン出力へ出力します。AUX 信号は通常の出力からは出力されません。モニタリングや深夜の練習に最適です。
- HEADPHONE OUT: ヘッドフォンを接続します。32~64Ω のヘッドフォンを推奨します。

XLR 出力:



- DI MAIN 出力:メイン出力(プリアンプ + パラレルブレンド + キャビネットシミュレーター)をバランス信号で出力します。
- DI PARALLEL:パラレル信号チェーン(プリエフェクトループ(割り当てられている場合)と LPF 選択を含む)のみを出力します。

フローチャート



仕様:

○入力インピーダンス:

- INPUT: 750K Ω
- Pre Fx return: 500k Ω
- Main Fx Return: 100k Ω

○出力インピーダンス

- XLR PARALLEL, XLR MAIN: 150 Ω (バランス)
- TS OUT MAIN, PRL OUT: 200 Ω

○ヘッドホンアウト:

- HP インピーダンス: 32~64 Ω
- HP パワー: 150mW @ 32 Ω
- Aux 入力インピーダンス: 4.7k Ω

○電力要件:

- 電圧: DC9~12 V
- 極性: センターマイナス
- 消費電流: 最大 80mA

輸入元: 株式会社フックアップ

製品に関するお問い合わせはこちらから。

<https://hookup.co.jp/support/contact>

